



闇に消えた大企業の犯罪をめくり、いま正義を求め、父と娘が対立する。

訴 そしょう 訟

20世紀フォックス映画提供 インタースコープ・コミュニケーションズ・プロダクション
マイケル・アプテッド・フィルム ジーン・ハックマン メアリー・エリサベス・マストラントニオ "訴訟" 音楽ジェームズ・ホナー
撮影コンラッド・L・ホール プロダクション・デザイナー トッド・ハロウェル 編集イアン・クロフォード
脚本キャロリン・シェルビー、クリストファー・アイムズ&サマンサ・シャッド 製作テッド・フィールド、スコット・クルーフ&ロバート・W・コート
PRINTS BY DELUXE 監督マイケル・アプテッド

CLASS ACTION

サントラ盤SLCレコード

DD DIGITAL STEREO



© 1991 TWENTIETH CENTURY FOX

『評決』について20世紀フォックス映画が贈る名作!!

●『評決』について20世紀フォックス映画が贈る名作!! 大企業の黒い霧を裁いてサスペンスいっぱい迫真のドラマが幕をあける!!

20世紀フォックス映画は、ポール・ニューマン主演で、医療ミスをテーマにした法廷映画の傑作『評決』で、多くの映画ファンを感動させたが、『訴訟』は姉妹篇として製作され、また興行的にも大ヒットした話題作だ。

突然、運転中の自動車が炎上し、九死に一生をえたものの生涯を車椅子で送る身障者となった男が、欠陥車による事故と、全米の大自動車会社アルゴを相手に訴訟を起こした。

原告側の弁護を受け持ったのはウォード(『フレンチ・コネクション』でアカデミー主演男優賞受賞の名優ジーン・ハックマン)。サンフランシスコでも正義派として妥協を許さない市民に信頼されている名弁護士。

被告側の弁護にあたったマギー(『ハスラー2』でオスカー演技賞候補になり『アビス』でも名演技を見せたメアリー・エリザベス・マストラントニオ)。出世の野心に燃えた美人の弁護士で、ウォードの実の娘だった。

仕事の上ではライバルの父と娘は、実生活では憎しみあい、お互に敵意もむきだしに対立している仲だった。

裁判の進行と共に、大企業の恐るべき欠陥車をめぐるからくりと陰謀。人命軽視の企業モラルの荒廃が、サスペンスいっぱいに明るみに出てくる社会派ドラマとして大反響を呼んでいるが、同時に父と娘を通して家族の絆を見つめなおした感動のドラマでもある。

●名優ハックマン対マストラントニオの火花散る名演技!! 全米マスコミも次期オスカー候補No.1の注目作と絶賛!!

マギーの母エステルは、裁判開始と共に法廷で激しくやりあう夫と娘の闘いを見るにつけ、神経も休まる間もなく、ついに脳血栓で倒れ、裁判の結果を見ることなく他界する。

マギーが、父を憎むようになった大きな原因は、60年代から浮気ばかりし母親を泣かせた父が、社会的名声とうらはらな偽善者として許せなかったからだ。

だが、裁判を通して、この父と娘は正義とは何か? 家族の絆とは何か? をあらためて見なおすことになる。

「父と娘の恐ろしくも素晴らしいドラマ。同時に90年代の法律、夫婦、企業モラルに関する問題を提起した第一級の秀作」(ロサンゼルスKABC=TV)

「今年最高にバワフルな映画。高い完成度、激しい感情、強い感動を与える知性。それらをブレンドして見るものをノックアウトする。次期オスカー候補No.1の見逃せない一作」(PBSシネマ・ショーケース)

「すっかり夢中にさせられるこの映画体験/ジーン・ハックマンの熟達した演技と天与の才能が、真に迫ったドラマの力とあいまってスクリーンに満ちあふれている」(ロサンゼルスKNBC=TV)

全米のマスコミは熱い絶賛の批評をこぞって書き、特にふたりの名優の息づまる演技が高く評価されている。

●『愛は霧のかたに』の名匠マイケル・アブテッドが語りかける深い感動のドラマは、いま社会的にも大きな反響を巻き起こしている!!

監督のマイケル・アブテッドは、この映画についてこう語っている。

『この映画にはふたつのストーリー・ラインがある。ひとつは成人した子供と彼女が憎みつけてきた父親との間に相互理解と愛情がよみがえってくるストーリー。もうひとつは我々が生きているいまの時代の企業モラルや価値観に対して、60年代のなごりのモラルは、まったく無意味になったのか? という問いかけだ。ハックマン演じる主人公は赤狩りのマッカーシズムからベトナム反戦、徴兵忌避など60年代を戦ってきたリベラリストで、市民の権利や、市民的自由という理念のために戦う価値があると、いまでも信じている理想主義者だ。金銭的に豊かになり余裕ができることが市民権の究極の目的ではないことを、この映画で私は言いたかった』と……。

ラストで浮き彫りにされる大企業の営利優先の犯罪ともいうべき恐るべき事実は、弁護士としても活躍したサマンサ・シャッドが、脚本家になり、彼女の実体験をもとに書いたもので、現実にあった話。似たような企業悪は、日本にも多くあり、大きな社会的な反響を巻き起こしている必見の話題作だ。

訴訟

●スタッフ●

監督……………マイケル・アブテッド
製作……………テッド・フィールド
……………ロバート・W・コート
脚本……………キャロリン・シェルビー
……………クリストファー・アイムズ
……………サマンサ・シャッド
撮影……………コンラッド・L・ホール

●キャスト●

ジェディダイア・タッカー……………ジーン・ハックマン
マギー・ウォード……………メアリー・エリザベス・マストラントニオ
マイケル・グレイザー……………コリン・フリールズ
エステル・ウォード……………ジョアンナ・マーリン
ニック……………ラリー・フィッシュバーン

上映時間1時間49分



10月下旬よりロードショー!

特別鑑賞券 ¥1400 (当日 - 般¥1700の処) 発売中

日比谷シャンテ・合歓の広場前

シャンテシネ1 03 (3591) 1511

●上映時間 日:祝 10:00 平 日 12:15 2:30 4:45 7:00